（1990年７月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月１日、15日発行

4/15・5/1
2023
第859号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル２F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・増永浩子
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

中途採用者の賃金改善めざそう

近年民間と同様に、自治体においても中途採用、経験者採用が増えているが、同様の職務を担う職員に比べて給料が極端に低いケースが存在する。中途採用者の賃金改善は、人材確保の観点からも重要であり、初任給格付け等の総点検を行い、改善することが必要だ。

府本部は3月15日こどもみらい館で、本部の森本正宏総合労働局長を講師に中途採用者の処遇改善に向けた学習会を開催した。

人事院が中途採用者の給与決定及び職員の昇格の柔軟な運用について現行制度上可能な取り扱いを明確にするため通知を出したことから、各自治体は改めて現行制度の確認と改善点の点検が必要となる。

森本局長は、「国家公務員においては、これまで数度にわたって、中途採用者の給与水準をより直採用者（新卒後すぐ入職した職員）と均衡させるよう、前歴換算における初号制限（その者の属する級の上位の級の初号の給料額を上回る号給とすることができない制度）の撤廃や、公務に直接役立つ民間経験であれば、5年を超えても12月換算とするという制度改善が行われてきた。各自治体で古い規定が残っている場合は撤廃し、国の取り扱いを参考に初任給決定の改善と昇格要件の緩和に取り組む必要がある」と説明。

以上の国の取り扱いを踏まえ、各単組の今後の取り組みについて提起した。基本的考え方は、直採用者との均衡の観点から、民間経験等のある中途採用者の初任給決定や昇格要件に関する規則、運用の点検・改善を行うことが必要。自治体によって規則・運用の状況にばらつきがあるが、ポイントは下記の4点。①2級以上の初任給格付けを可能とすること。②民間職務経験を100％換算とすること。③人事院規則にあわせ、最短昇格期間（1年）の適用、在級期間の短縮（5割）をすること。④必要な在職者調整を行うこと。

最後に、森本局長は自身の経験を織り交ぜながら、公務員の給与は一度位置づけられると低いままになると指摘。単組で活動している時代には給料のラインが7本あり、一本化するのに17年かかったことを例にあげ、「公共民間職場、会計年度任用職員も含め、同一労働・同一賃金をめざして少しでも改善するよう、各単組各職場で一歩一歩でも取り組みをお願いしたい」と訴えた。

【在級期間表】（人事院規則9―8 別表第6）

職務の級								
2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級
3（8）	4	4	2	2	4	3	3	3

例）大卒後、民間経験年数が５年あるものが大卒程度試験によって採用された場合

ア．級の決定
大卒初任給１級25号から、最短昇格期間３年で２級に昇格したとみなし、２級５号に格付け

イ．号俸の決定
経験年数５年から最短昇格期間の３年を引いた２年が調整対象となるため、２級５号＋８号＝２級13号に格付け

4/23 投票日 後半戦スタート

府本部組織内・政策協力候補

組織内候補
■木津川市
福井 平和（ふくいひらかず）／現1

政策協力候補
■八幡市議会
福田さよこ（ふくださよこ）／現3

政策協力候補
■宇治市議会
西川ともやす（にしかわともやす）／現2

統一自治体選挙 前半戦

自治労組織内は惜敗

第20回統一自治体選挙の前半戦、京都府議会議員選挙と京都市会議員選挙が4月9日に投開票された。京都府議会選挙では、府本部組織内の平井としきさん（京都市北区）と山本あつしさん（木津川市・相楽郡）が再選をめざしたが惜敗した。京都市会選挙では、坂巻ゆずるさん（右京区）が挑戦したが、同じく惜敗となった。

連合京都および府本部が推薦・支持をした候補も維新勢力の伸長により大変厳しい結果となった。所属政党別の議席数は立憲民主党が、府議会で3議席、国民民主党は4議席、無所属は2議席。京都市議会では立憲民主党が2議席、国民民主党は3議席、公明党1議席、無所属1議席となった。

投票率は府議選40・23％。市議選39・85％で前回よりは微増となったが、ともに過去2番目の低さとなった。

▲敗戦の弁を述べる山本さん（左）、平井さん（右）

後半戦は16日に告示され、23日が投票日となる。府本部組織内・政策協力候補として、木津川市議会選挙に福井平和さん、八幡市議会に福田さよこさん、宇治市議会に西川ともやすさんが再選をめざす。必ず投票に行こう。

新入組合員歓迎集会

とき　6月18日(日)10時00分開会予定
ところ　ホテルグランヴィア京都
参加費　無料
※同期の仲間で楽しく交流しよう。詳しくは各組合まで。

交思双

国の独法による「暮らしと意識に関するNHK・JILPT共同調査」結果が公表された▼イメージする「中流の暮らしを送るのに必要な年収」に関して、有配偶者は「600万円以上」と「800万円以上」、無配偶者は「400万円以上」と「600万円以上」に回答が集中。ちなみに労福協の奨学金返還中の方対象のアンケートで「出世したと思える年収」は、全体で732万円だった▼「中流の暮らしに当てはまる条件」は、世帯主が正社員（63・0％）、持ち家（61・2％）、自家用車（59・5％）を多く選択▼「中流の暮らしをしているか」は、55・7％が「中流より下の暮らし」、38・4％は「中流の暮らし」と回答▼少しショックだが「努力さえすれば誰でも豊かになることができるか」は、65・6％が「思わない」とし、よい人生を送るための条件として、もっとも割合が高い「真面目に努力すること」は、若い世代ほど重視していない。他にも「親より経済的に豊かになれると思うか」など興味深い質問も。是非ご一読を！　（て）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

震災の記憶を現地で学習

青年部が福島スタディツアー

自治労本部青年部は2月18～19日に、「福島スタディツアー」を開催。府本部から1人が参加した。この取り組みは、原発事故の深刻な影響を現地で学習し、今後の反原発闘争を強化することを目的に、福島県の東日本大震災・原子力災害伝承館、大熊町役場、特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしまなどを視察し学習を深めた。

震災の記憶を現地にて肌で感じることで、様々な視点を持つことができた。とくに、大熊町では東日本大震災によって全町避難を余儀なくされ、現在も放射線量の高さから制限されている区域がある中で「震災と原発事故から復興を成し遂げた町」となるよう、日々奮闘している仲間がいることを知り、どこか他人事だと思っていた福島の原発事故を自分事として捉えることができた。

2日目は、（公財）日本教育公務員弘済会福島支部専門幹事の柴口正武氏により「震災から12年～学校現場から見える原発災害～」と題した講演を受けた。その後参加者で分散会を行い、全国の仲間との有意義な情報共有を行った。

仲間と職場課題を共有

地連青女協が春闘学習会

近畿地連青年女性協議会は2月23日、PLP会館にて2023近畿地連青年女性協議会春闘期学習会を開催し、府本部から10人（内女性6人）が参加した。

はじめに主催者を代表して近畿地連青年女性協議会の音田議長（宇治田原町職）からあいさつがあり、次に自治労大阪本部の大西副執行委員長からあいさつを受けた。

続いて、自治労中央本部青年部の関川副部長から『気持ちをことのえる、2023春闘』をテーマに講演を受けた。春闘期について具体的に詳しく学習し、仲間の声をどう集めていくか具体的に教えていただいた。

そのあと10グループに分かれたグループワークで、自分の職場の現状を話し合った。様々な職種の仲間と困りごとや解決策などを共有し、話し合ったことを発表した。最後に関川副部長から講評をいただき学習会は終了した。

コロナ禍でなかなかできなかった学習会だが、今回いろんな人の話を聞き、また話すことの大切さを改めて実感した。今回の学習会のことを各単組、青年部・女性部で共有していきたい。

町村職の低賃金改善を

東京で全国町村職総決起集会

自治労本部町村評は2月17日、東京・日比谷野外音楽堂で第43回全国町村職総決起集会を開催。本集会は春闘にむけた全国の町村職組合員の意思統一のため毎年この時期に開催していたが、新型コロナウイルスの影響で今回4年ぶりに開催され、府本部から2単組5人が参加した。

宮脇町村評議長が主催者を代表しあいさつ。「2023春闘のスローガンは『あなたの声ではじまる春闘』。組合員の要望に応えるべく組合員の声を反映した要求書の提出をしっかり行ってほしい。また連携する議員の力になれるよう町村職の特徴である『顔が見える運動』の展開により組織の拡大に努めていただきたい」と訴えた。

伊藤書記長より春闘方針の提起、瀧口幹事より、総務省要請についての報告を受けた。その後、参加者の決意表明、宮脇議長による団結がんばろうで集会を終え、デモ・請願行動に出発した。

デモ行進では、会場から国会議事堂前まで「町村職員の低賃金を改善しよう」とシュプレヒコールをあげた。国会議事堂前では、鬼木まこと参議院議員など協力国会議員への請願行動を行い、参加者全員で賃金や職場環境の改善を訴えた。

将来後悔しないために

ライフプランと地球環境を考えよう

新規採用職員のための

ライフプランセミナー & アースデイコンサート

とき　4月27日(木)18:30開会

【第1部】18:30～
新規採用職員のためのライフプランセミナー
講師：瀬戸家みのりさん(FP)
※参加された新規採用職員には
Amazonギフト券をプレゼント!

【第2部】19:15～
アースデイコンサート2023
演奏：京響音楽家労組による
フルート四重奏
※第2部はどなたでも参加OK。

ところ　京都市・ウイングス京都

参加費　無料

※多数ご参加ください。詳しくは各職場の組合まで。

笑顔あふれる未来めざそう

連合京都地域メーデー

4月29日(土・祝)

- 連合京都中央メーデー
  10:00　梅小路公園芝生広場
- 連合南山城地域メーデー
  10:00　太陽ヶ丘野外ステージ
- 連合乙訓地域メーデー
  10:00　JR長岡京駅前バンビオ広場
- 連合北部地域メーデー
  13:30　丹後文化会館

4月30日(日)

- 連合中部地域メーデー
  10:00　福知山市厚生会館

※チラシを持参し、各地域メーデーにご参加を。